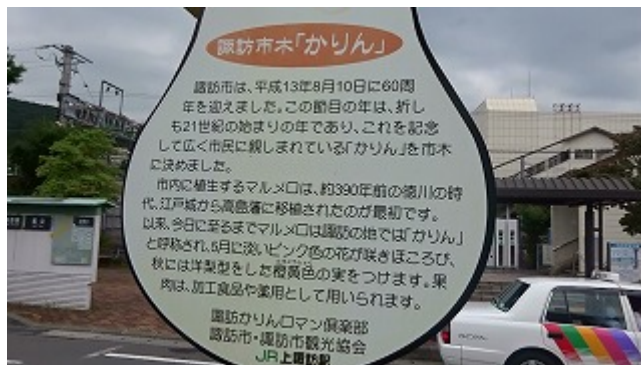


2015年7月4日（土）

霧ヶ峰（八島湿原～車山）

梅雨の合間を縫って、多彩な高山植物が咲く八島湿原から車山への霧ヶ峰花ハイクを7月4日（土）に決行し、山川さん、川島さん、伊能さん、根岸さん、能勢さん、堀さん、石井さん、吉松さん、熊本が参加した。



中央線上諏訪駅に9:30集合。駅前のロータリーにはカリンが生っていて、諏訪市の市木であった。



9:50 発の八島湿原経由茅野行のバスに乗る。八島湿原へは夏季のみ運行である。



10:37 八島湿原に到着し下車。



登山準備を整えて、トンネルを潜って八島湿原へ



10：48 霧ヶ峰湿原植物群落（八島湿原、踊場湿原、車山湿原）の標識の前で記念写真を撮りスタート



八島湿原（標高 1632m）を眼下に、その向こうに、これから向かう蝶々深山から車山にかけての尾根が見える。



濡れた木道を下り、滑りやすいために、注意を促した途端に、後ろで、ステーンと大きな音がした、振り返ると堀さんが転倒していた。



八島湿原に下り始めると、ノリウツギやミヤマシシウド等の高山植物が現れ始めた。



八島湿原は木道の周遊となっており、我々は鎌が池方向に進んだ



早速、ニッコウキスゲ等の高山植物が
下図のように次々とお出迎えだ。



イブキトラノオ



ニッコウキスゲ



コバイケイソウ



レンゲツツジ



ハクサンフウロ



木道の先に蝶々深山が見える



オオカサモチ



キリガミネヒオウギアヤメ



ナルコユリ



タカトウダイ



紅葉した葉



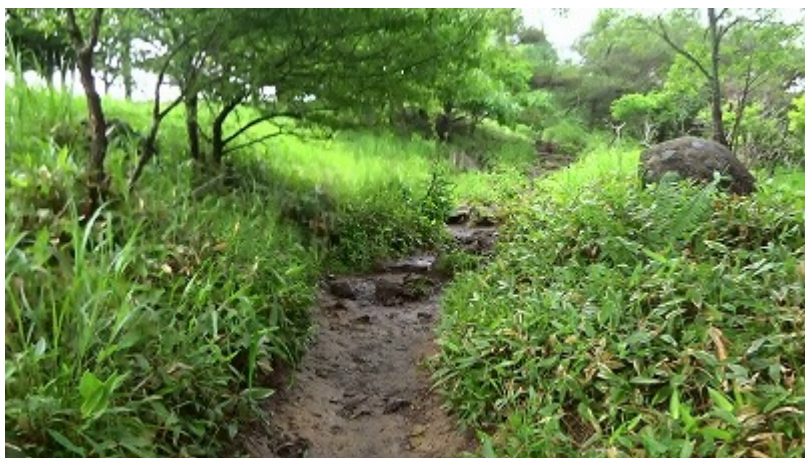
コバイケイソウ



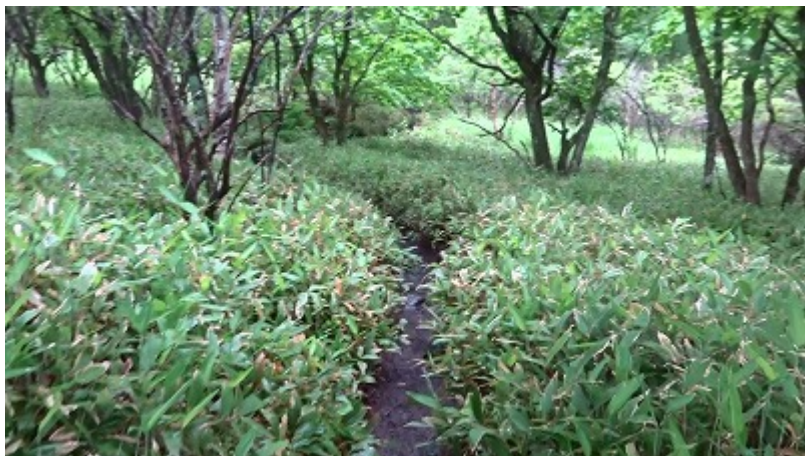
キバナノヤマオダマキ



約1/4周すると鎌が池に到着し、我々は物見石・車山湿原の方向に、鹿害を防ぐ金網を潜って進む。



暫くは、泥濘んだ登山道を進む



クマササの登山道に代わり更に進む。



いよいよ、蝶々深山への登りに入る。



ヨツバヒヨドリ



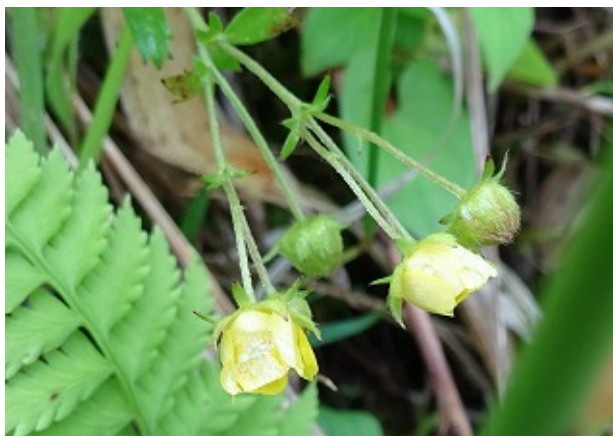
イブキトラノオ



タカネグンナイフウロ



紅葉しかけた葉





エゾボウフウ



アサマフウロ



歩き始めて約 1 時間で物見石に到着した (11 : 55)



ここで昼食にする (標高 1792m)。



上空は厚い雲に覆われ、天候も怪しくなってきたので、早めに昼食を切り上げて蝶々深山に向かう。
写真前方の丘が蝶々深山で、その先に車山があるがガスで隠れている。



池のような水溜りを歩く



やがて前方に白い帯が広がって見えたが、近づくとコバイケイソウの群生だった。



蝶々深山への最後の登り



蝶々深山（山頂：1836m）で記念写真（12：38）風が強く気温が低く寒い。風邪ぎみの熊本にはこたえた。



次は車山湿原に向かって下る。



車山湿原（標高 1770m）にはレンゲツツジやコバイケイソウの群生が其処ここにあった。



車山湿原から車山山頂に向かう。



熊本は風邪で調子が出ず、山頂を諦め、分岐点から車山肩に直接行くことにし、山頂へ向かう 8 名を見送った。

(12 : 55)



山頂組は車山乗越（1815m）からいよいよ車山山頂への最後の急登に取り付く



車山山頂から白樺湖へのリフトが見えてきた。



車山山頂に 13 : 25 に到着。
山頂は濃いガスの中だった。



山頂の車山神社前で記念写真を撮る (13 : 30)



山頂 (1925m) は濃いガスに包まれて
全く視界がない。
13:35 に車山肩への下山に入る。



ハクサンフウロ



イブキトラノオ



ミヤマキンボウゲ



イロバナヘビイチゴ



ヤナギラン



ウスユキソウ



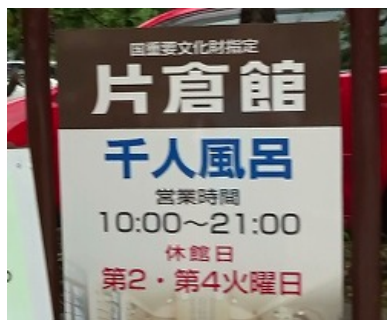
車山肩で熊本と合流（14:15）。
肩から霧ヶ峰インターチェンジにかけてニッコウキスゲの群生地になっていた。



14:45 の上諏訪行のバスを待つ。



15:25 バスは上諏訪駅に到着し、
明日、釣りで早出の吉松さんはこのまま電車で帰路に着く。



残った 8 名は上諏訪温泉「片倉館」の千人風呂で入浴休憩（¥650）



入浴後 2 階の大広間に寛いで、生ビールで乾杯！



ユックリ休み、上諏訪駅へ向かう



スーパーあずさ 28 号は結構混んでいて、8 名が固まって座ることが出来ず、2 GP に分かれて何とか座席を確保出来た。



大宮で、石井さん、根岸さん、能勢さん、堀さんが下車、立川で川島さんが下車し、残った、山川さん、伊能さん、熊本が終点新宿までで、夫々高山植物の思い出を胸に帰路に着きました。

今回は雨覚悟の山行でしたが、歩行中は雨に会わず、特急に乗って走り出した途端に本降りとなり、幸運でした。八島湿原、車山湿原の高山植物鑑賞の一日でした。